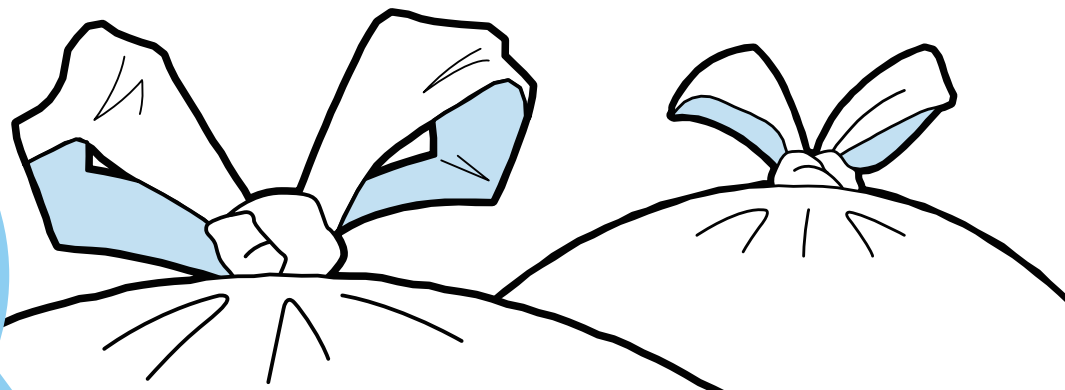


みんなの力で

ゼロ・ウェイスト 特集号

逗子市役所 〒 249-8686 逗子市逗子5丁目2番16号 ☎ 046-873-1111 ☎ 046-873-4520 (市長室直通ファクス ☎ 046-872-5555) URL <http://www.city.zushi.kanagawa.jp/>

平成
27年10月
からの



家庭ごみ処理有料化 導入に向けて

持続可能な循環型社会を実現するためには、ごみを減らし、資源を大切に使う必要があります。

市の最終処分場は満杯寸前！ 何とでもごみを減らす必要があります。

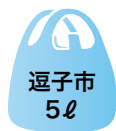
そこで市では、ごみの更なる減量化・資源化を図るため、家庭ごみ処理有料化の取り組みを進めています。市民の皆さんのご理解ご協力をお願いします。



袋は**4種類**を予定しています

ごみの量に適した大きさの袋を選択できます。

有料の指定袋
を購入する事で、
ごみ処理手数料を
支払っている事に
なります



5リットル袋 **10円**



10リットル袋 **20円**



20リットル袋 **40円**



40リットル袋 **80円**



ごみ有料化の10の?に答えます

1 ごみ全部が有料になる?

指定ごみ袋を使うのは、燃やすごみと不燃ごみです。



有 料 化

燃やすごみ		不燃ごみ	
-------	--	------	--

再生利用が可能な資源ごみは、今までどおり無料で収集する予定です
指定ごみ袋を使わず透明・半透明の袋で出します。

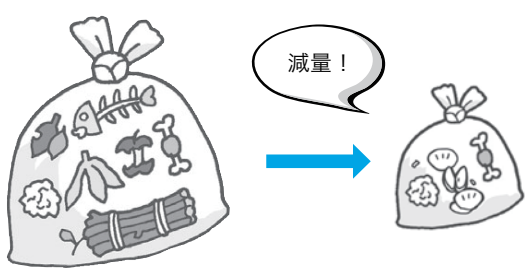
ペットボトル	あき缶・あきびん	容器包装プラスチック	紙・布類
			 新聞紙 段ボール 雑誌 布類 飲料用紙パック ミックスペーパー

2 有料化のメリットって何?



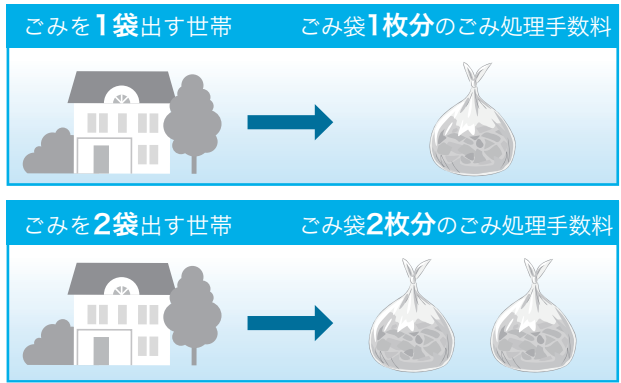
ごみの減量化・資源化の促進につながります

一人一人がごみの減量や分別について意識することで、ごみの排出抑制と資源ごみの分別が進む事が期待できます。



費用負担(受益者負担)が公平になります

ごみを出した人が出した量に応じて費用を支払うため、ごみ処理費用の負担がより公平になります。



逗子市一般廃棄物処理基本計画(平成22年3月改定)の目標年度である平成31年度のごみ排出量予測は、家庭ごみ処理有料化の導入の効果によって燃やすごみ、不燃ごみ共にマイナス20%を見込んでいます。



3

指定ごみ袋はどこで買える？

市民の皆さんが購入しやすいように、商工会などの団体と連携して、地域ごとにバランスがとれた、ごみ袋の取り扱い店を設置する予定です。



4

指定ごみ袋を使わないで出すとどうなる？

指定ごみ袋を使用しないで出されたごみなど、ルール違反ごみには注意を促すシールを貼り、収集しない方針です。燃やすごみと不燃ごみは、指定ごみ袋を使用して、しっかりと結び口を閉じて出します。

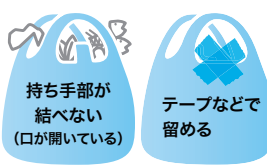
指定ごみ袋の使い方

良い例



しっかり結び口を閉じる

悪い例



持ち手部分が結べない(口が開いている)

テープなどで留める



5

不法投棄やルール違反ごみが増えることはない？



不法投棄への対策

市では、従来から県と協力して不法投棄のパトロールを実施しています。又、不法投棄が発生した際には、警察と連携するなど迅速な対応を図っています。

家庭ごみ処理有料化の導入にあたっては、不法投棄が増加する事がないよう、関係機関と連携して防止策を図っていきます。

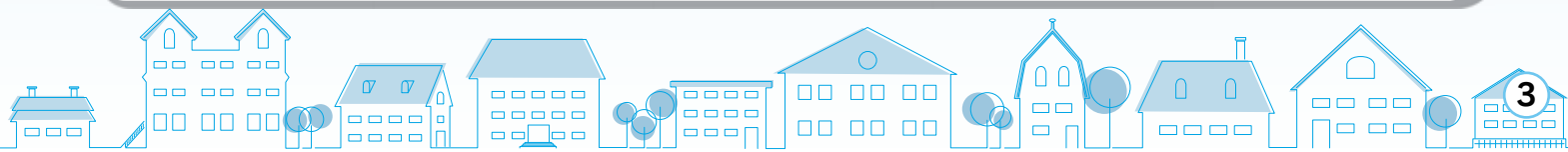
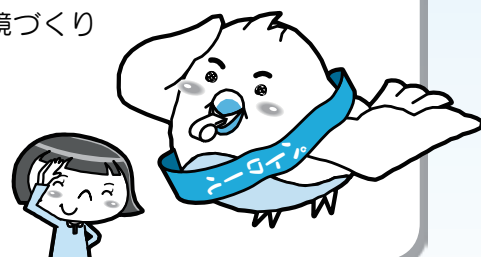
有料化実施市のデータを見ると、有料化の導入により不法投棄が増えるという顕著な傾向はないようです。制度導入が環境意識の向上につながっていると考えられます。



ルール違反ごみへの対策

広報ずし、市ホームページによる情報提供、チラシやパンフレットなどの配布、有料化導入前の住民説明で十分に周知し、ルール違反ごみを未然に防ぐように取り組んでいきます。

又、有料化実施当初の立ち会い指導やパトロール、ルール違反ごみの内容調査などで、排出ルールを守ってもらうよう、対策に努めます。多発場所では、自治会・町内会や廃棄物減量等推進員の皆さんと連携して、不適正なごみ出しにつながらない環境づくりを進めていきます。



6 手数料は何に使われる？

有料化導入の最大の目的はごみの減量化・資源化です。そのため、手数料収入は、ごみの減量化・資源化、リサイクルの推進、周知啓発などを目的としたごみ処理関連の事業に特定して使う予定です。

手数料収入の使途は、市のごみ処理経費の現状などと併せて、公表していきます。



7 どのくらいの負担になる？

有料化を導入した自治体で使用実績が多い20リットルの袋を、燃やすごみは週2回の収集日に1枚ずつ、不燃ごみは1か月に1枚使って出すと仮定すると、一世帯あたりの負担は、年間4,640円、月額にすると約387円になります。



試算

燃やすごみ 2枚×52週=104枚

不燃ごみ 1枚×12月=12枚

年間116枚使用

116枚×40円=年間4,640円

月額約387円

8 減免(無料収集)の対象は？



無料収集の対象とする品目



有料化の対象とする事が適当でない品目は、有料化導入後も無料で収集する予定です。対象となる品目ごとに、袋の中が分かるように透明又は半透明の袋に入れて、出す事になります。

無料収集対象品目

ボランティア清掃ごみ



地域の美化活動、清掃活動などでお出のごみ

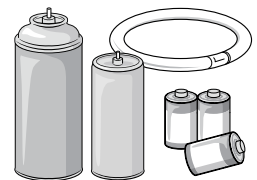
紙おむつ



草・葉・植木ごみ



有害危険物

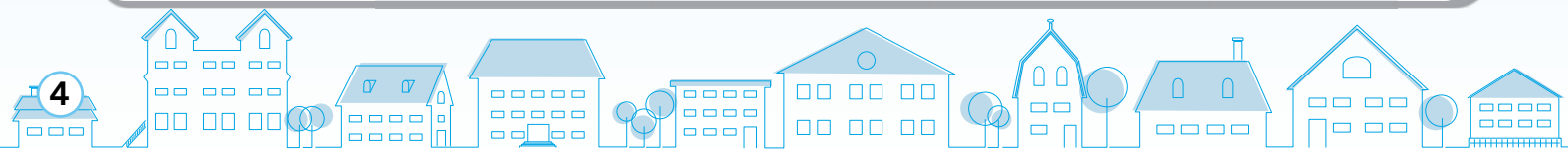


カセットボンベ、スプレー缶、乾電池、蛍光灯など

減免対象者に一定枚数を無料配付

手数料は市民の皆さんが公平に負担する事が原則ですが、一般廃棄物処理手数料の減免対象となっている生活保護受給世帯には指定ごみ袋の無料配付を予定しています。

その場合、配付枚数に制限を設けるなど、減免対象者が一定のごみ減量の努力をする方法を検討していきます。

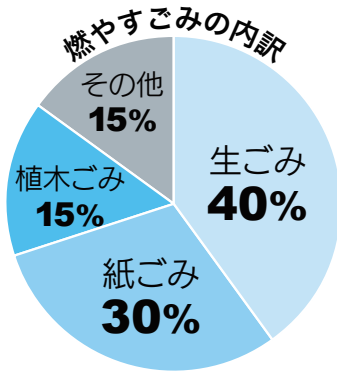


ごみ袋を節約する方法は？



家庭から出される燃やすごみの中で、一番多いのは**生ごみ 40%**、次に多いのは**紙ごみ 30%**です。

生ごみを出す量を減らし、紙の分別を徹底すれば、燃やすごみの量は大幅に減らすことができます。燃やすごみの量が減れば、小さいサイズのごみ袋で足り、使うごみ袋の枚数が減るため、家計負担が少なくなります。



ごみ袋に入れる生ごみを減らすコツ

- 1 購入時・調理時の工夫(使うものだけ買う、食べられる野菜の皮はむかないなど)
- 2 ためる時の工夫(水切りをする、水にぬらさない、乾燥させるなど)
- 3 排出する時の工夫(生ごみ処理容器の使用など)



生ごみをごみステーションに出さない方法

市では、生ごみを有効利用した土作りの方法の提案、生ごみ処理容器等の購入費の助成などを行っています。平成25年10月から助成率をアップ*、逗子市商工会と協定を結び、生ごみ処理容器の購入がより手軽になりました。 *電動のものを除く。

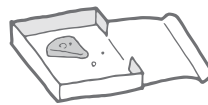
市内で販売しているバクテリアdeキエーロは、材料の一部に陸前高田市の津波防災対策で大量に発生する間伐材を使い、仮設住宅の住民が製造に携わっています。これによって雇用創出を含めた被災地支援にもなっています。



紙ごみを燃やすごみにしない方法

紙ごみは、**汚れている・においがする・特殊加工がしてあるもの**以外、ほとんどの紙がリサイクルできます。小さな紙、シュレッダーした紙、トイレトペーパーの芯なども、紙製の袋に入れ、紙・布類の回収日に出してください。

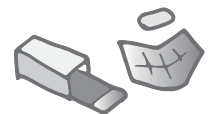
×汚れている
ピザの箱など



×においがする
洗剤の紙製容器など



×特殊加工
銀紙など



粗大ごみはどうなる？



粗大ごみ処理手数料は、家庭ごみ処理有料化の制度との整合をとり、排出抑制を促進するため、近隣市町の取り扱いや料金水準と逗子市の粗大ごみの処理原価を考慮して、粗大ごみと大型粗大ごみとの2区分の一律料金とする予定です。

粗大ごみ		大型粗大ごみ	
大きさ	料金	大きさ	料金
一辺の長さがおおむね50cm以上	600円	一辺の長さがおおむね1m以上	1,200円

逗子市の ごみ処理の現状と目標



市の焼却灰などを埋め立てる最終処分場は満杯寸前の状態であり、何としてもごみを減らさなければならない状況です。これまでも、ごみの減量化・資源化を推進するための施策を実施してきましたが、平成17年度以降のごみ排出量は、近隣とごみの広域処理の検討により大幅な分別品目の変更を行えないなどの状況もあり、横ばいの状況が続いていました。

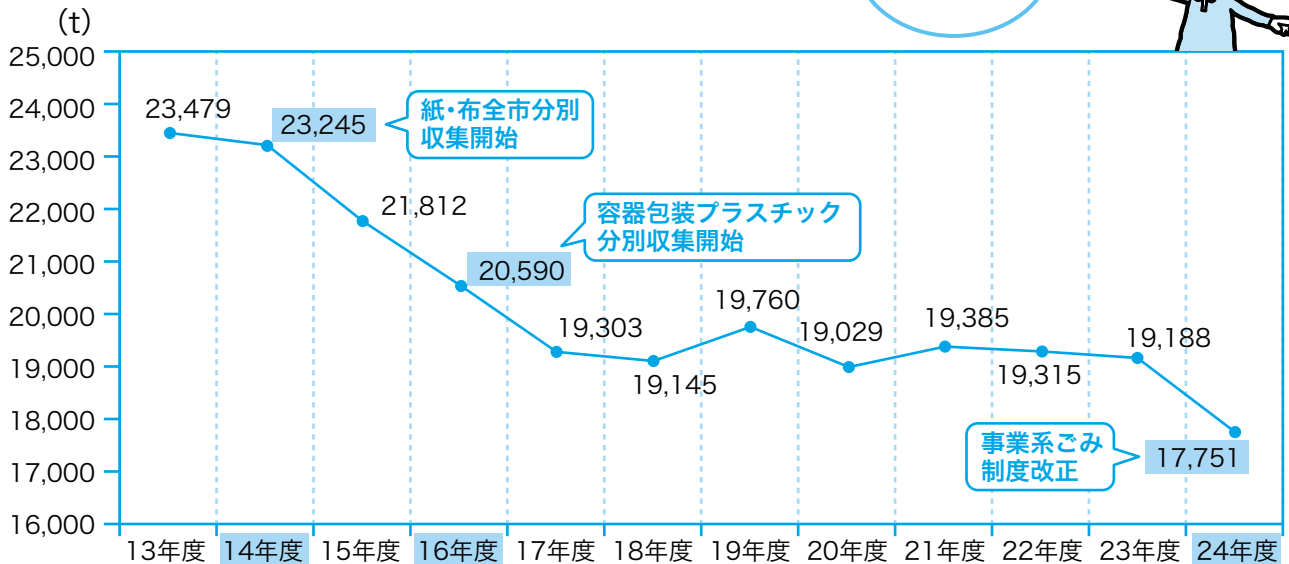
平成24年度は、事業系ごみに関する処理方法を見直したことで前年度に比較し約1,500t減少しましたが、最終処分場の延命化のためには、更なる減量化が必要です。

そこで、市では、ごみの減量化・資源化を進めると共に、排出するごみの量に応じた負担の公平化を図ることを目的として、家庭ごみ処理有料化の取り組みを進める事にしました。

みんなで更に
ごみ減量!



収集ごみ・持ち込みごみ量の推移



ごみ処理費用の内訳(平成24年度実績)

収集運搬費	約3億1,000万円
中間処理費	約6億6,000万円
最終処分費	約1,000万円
総額	約9億8,000万円

市の一般会計の約5.1%を占めています。平成24年度は焼却施設の大規模改修工事により市外の焼却施設を使用したため、中間処理費が増大しました。

ごみ処理費用の内訳(平成26年度予算)

収集運搬費	約3億5,000万円
中間処理費	約5億3,000万円
最終処分費	約2億1,000万円
総額	約10億9,000万円

最終処分量を減らすための新たな資源化費用

- 焼却灰全量資源化 約1億5,000万円
- 植木剪定枝資源化 約1,780万円
- ガラス残さ等資源化 約860万円

「燃やすごみ」を減らせば費用削減!

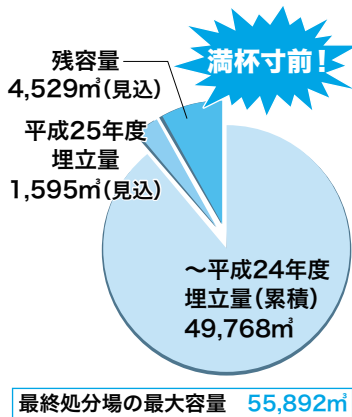
市の埋め立て場(最終処分場)の残容量は限界に近づいています

平成23年度から24年度にかけて埋め立て場の延命化工事を行いました。しかし、今後も焼却灰と不燃ごみ残さの全量の埋め立てを続けると、数年で使い切っ

てしまいます。災害時の廃棄物の保管場所などを考えると、埋め立て場の容積を残しておく必要があります。そのため、今後、焼却灰、破碎残さなどを多額の費用をかけて外部で資源化する必要がある

ます。その経費を削減するためにも、ごみの減量化・資源化を一刻も早く進めないといけません。

埋め立て場に埋め立てているうちの9割近くが焼却灰です。焼却灰を減らすには、燃やすごみをいかに減らすかがポイントです。



家庭から出される燃やすごみの中で

一番多いのは **生ごみ 40%**

次に多いのは **紙ごみ 30%** です

生ごみ処理容器などによる自家処理、紙ごみの分別徹底にご協力をお願いします。

事業系ごみの現状と将来

市では、平成24年4月に事業系ごみの処理方法などを変更しました。制度改正による減量効果等の検証を十分に行つたうえで、適切な時期に改めて見直しを図る必要があると考えています。

平成24年4月からのごみ処理手数料(持ち込みごみ手数料)の料金水準

ごみ処理手数料

1kgあたり6円



10kgあたり150円

産業廃棄物*処理費用

1kgあたり17円



10kgあたり240円

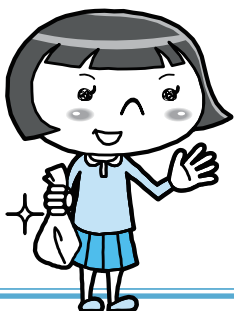
*産業廃棄物は、天災その他の災害により発生した木くずに限ります。



少量排出事業所

家庭ごみと同質同量以下で、家庭ごみと同様に処理できるごみしか出さない事業所は、零細事業所保護の観点から家庭ごみと同じ扱いとし、ごみステーションに排出する事を可能としています。家庭ごみ処理有料化の導入にあたってはこの考え方を維持し、家庭ごみと同じ指定袋を使ってごみステーションに排出することを可能とする予定です。

目標はごみ減量20%



生ごみの発生・排出抑制、紙ごみの分別徹底をする事で、燃やすごみを減らし、資源化を進める事ができます。そして、市民の皆さん一人一人の取り組みが、最終処分するごみの量を減らし、市のごみ処理経費を減らす事につながります。

平成31年度までに、燃やすごみ・不燃ごみ20%減量、最終処分量90%減(いずれも平成20年度比)と資源化率53%を目標にしています。



今後行われる 説明会のご案内

説明会を開催します

日時 4月19日(土) 10:00~12:00

開場 9:30~

場所 市役所5階会議室

* 託児(先着5人)・手話通訳・要約筆記希望者は、4月10日(休)までに申し込んでください。



地域ごとの説明会も開催

制度案についての地域ごとの説明会を順次開催します。5月以降の説明会の開催スケジュールは、随時、広報ずし、市ホームページでお知らせしていきます。

自治会・町内会の会合などでの出前説明会も開催します。ご要望がありましたら、資源循環課まで問い合わせてください。

今後の予定



9月に予定されている逗子市議会第3回定例会に、家庭ごみ処理有料化の導入に係る条例改正案を提案します。改正案が可決されれば、平成27年10月の実施に向け、市民周知などの準備を行っていきます。

家庭ごみ処理有料化に関する問い合わせ先

逗子市 環境都市部 資源循環課

TEL 046-873-1111

FAX 046-873-4520

MAIL sigen@city.zushi.kanagawa.jp

